

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
謹白



項目名

● BRAF V600E変異タンパク

(依頼コード No.17548)

受託開始日 2023年2月6日(月) ご依頼分より

BRAF V600E変異タンパク検査は免疫組織化学染色(IHC法)を用いて、がん組織中のBRAF V600E変異タンパクを検出する検査です。

BRAF V600E変異陽性の大腸癌患者については予後不良であることが知られており、本検査は適切な治療を選択する上で実施が推奨されています。

また、大腸癌におけるリンチ症候群(※)と散発性大腸癌の鑑別にも有用とされています。

(※)リンチ症候群の確定診断

血液を用いて「リンチ症候群遺伝子検査」、または病理組織を用いて「ミスマッチ修復(MMR)タンパク免疫染色検査」を実施して原因遺伝子であるMLH1タンパク発現の消失が認められる場合、BRAF V600E変異の有無を確認することが必要となります。

2023年1月、本検査が従来からの遺伝子変異検査に加え、大腸癌における化学療法選択の補助および、大腸癌におけるリンチ症候群の診断の補助を目的として実施した場合に保険適用となりました。

このたび、本検査の受託体制が整いましたので受託開始をご案内申し上げます。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



Google play



Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル



受託要領

依頼コードNo.	17548
検体必要量	・未染スライド標本4枚(切片は4μm厚) ・パラフィン包埋ブロック(別途スライド作製料が必要)
検体の保存方法	室温
検査方法	免疫組織化学染色(IHC)
報告形式	陽性/陰性/判定不能
所要日数	7~10日
実施料/判断料	1600点
検体提出上のご注意	<ul style="list-style-type: none"> ・病理組織検査依頼書「PS(Z)-4」あるいは「PA(Z)-4」に必要事項を記入の上で依頼ください。 ・病理診断名、病理所見は本検査判定時の必須事項のため、依頼書に記入が必要です。 (病理報告書のコピーを添付の場合、記入は不要です。) ・依頼書の「臨床診断及び臨床情報」欄に固定時間をご記入ください。 ・採取後速やかに10%中性緩衝ホルマリンで12~72時間の固定が推奨されています。 ・脱灰が必要な材料や他の固定液を使用して処理された材料は推奨されていません。 ・未染色標本スライドでご提出の場合、必ずシラン等のコーティングスライドをご使用ください。 ・FFPEブロックでご提出の場合、別途料金が必要となります。

【参考資料】

リンチ症候群におけるMMR免疫染色を用いたスクリーニングについて

出典：BRAF 変異タンパクキット「ベンタナ OptiView BRAF V600E(VE1)」製品案内資料

(ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社)

免疫染色によるリンチ症候群の2次スクリーニングのアルゴリズム

